

# あおえネットワーク

岡山赤十字病院 患者サポートセンター



岡山日赤HP

## 研修会・カンファレンスのご案内

※ポスター同封

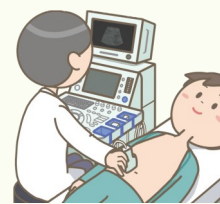
※会場参加の際は、感染症予防対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

日時・会場	名称	演題・演者等
令和8年7月1日(水) 18:40~18:55 岡山赤十字病院 南館1階 研修室 (ハイブリッド開催)	第36回 地域連携パス 連絡会	【脳卒中パスについて】 岡山赤十字病院 脳卒中科部長 岩永 健  【大腿骨頸部骨折パスについて】 岡山赤十字病院 第一整形外科副部長 (兼) 外傷センター長 保利 忠宏
令和8年7月1日(水) 19:00~20:00 岡山赤十字病院 南館1階 研修室 (ハイブリッド開催)	第97回 岡山赤十字病院 病診連携研修会	テーマ『薬疹診療の舞台裏』 講演Ⅰ『症例からみる多職種連携』 ①皮膚科医の視点 ②皮膚・排泄ケア認定看護師の視点』 岡山赤十字病院 皮膚科医師 加藤 あずさ 岡山赤十字病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 長崎 幸恵  講演Ⅱ『地域と多職種でつなぐアレルギー検査からスキンケアまで ~皮膚科医からみた重症薬疹診療拠点病院としての役割と、 最近の薬疹トピックス~』 岡山赤十字病院 皮膚科部長 横山 恵美  《生涯教育カリキュラム(1.0単位)：10 チーム医療(0.5)、26 発疹(0.5)》

※今年度より開催時間が変更になっております。ご注意ください。

## エコー検査予約可能日の変更について

平素よりエコー検査をご利用いただき、ありがとうございます。6月1日より、エコー検査の予約可能日が一部変更になります。部位ごとに申込み診療科が異なりますので、詳しくは同封しております「エコー検査予約のご案内」をご覧ください。



## がんサロン開催のお知らせ

日時：6月9日(火) 10:00~11:00

場所：岡山赤十字病院 南館2階 会議室1

対象：がん患者さんとそのご家族

(入院中、通院中の方どなたでも参加できます)



### 1. ミニレクチャー

『主治医にうまく伝えるコミュニケーション術』

講師：がん看護専門看護師 長谷川 彩華

### 2. 座談会

(内容は問いません)



ご要望・ご意見等ございましたら、「診療所の先生方の声」として地域医療連携課までお寄せください。

TEL/086-235-8555 FAX/086-235-8556  
e-mail/renkei@okayama-med.jrc.or.jp

QRコードからも入力できます  
ぜひご活用ください!



# 院内Topics ニュース&報告

## 第96回岡山赤十字病院病診連携研修会

3月4日に第96回岡山赤十字病院病診連携研修会が開催されました。



今回のテーマは『認知症・MCI診療の最前線：予防と治療』、参加者は61名(現地30名、Web31名)でした。はじめに『高齢者乳がん患者の治療について』と題して、私から講演させていただきました。当院で手術を受ける70歳以上の乳がん患者は全患者の40%を占めており、高齢者が多い施設です。高齢者のがん治療では、患者の全身状態をできるだけ正確に効率的に評価し、さらに余命、意思決定能力、人生観や価値観などを考慮して治療計画を立てることが求められます。その際に認知機能は重要な因子となります。つづいて精神神経科顧問 中島 誠先生から『老い、老化、認知症』と題した講演では、軽度認知障害(MCI)や認知症について分かりやすく、詳しく解説していただきました。MCIとは記憶力や注意力などに低下はみられるものの、社会生活に支障をきたさない状態で認知症の前段階です。服薬の自己管理や予防的な内服などは困難となり、1年で5～15%の人が認知症に移行します。2022年の調査では65歳以上高齢者の15.5%がMCI、12.3%が認知症とされています。MCIを対象とした治療薬があり、認知症への移行を遅らせる効果が証明されています。



今回、MCIや認知症について学び、特にMCIの高齢患者には認知症治療を並行して行うことで、さらに適切ながん治療を提供できるのではないかと感じました。

乳腺・内分泌外科 吉富 誠二

## 令和8年度救護員任命式

今年も救護員任命式が支部によって執り行われ、令和8年度新規任命者に対して日本赤十字社岡山県支部豊田事務局長より任命証が交付されました。

岡山県支部管下では常備救護班9個班のほかに、災害対策本部要員、救護班要員(薬剤師・DMAT隊員)、救護員としての赤十字看護師が任命されており、非常時の幅広い業務に対応できる体制を整えています。医療社会事業部長の齋藤先生から研修や訓練への可能な限りの協力を促す話があり、任命式後に行われた救護倉庫での資機材確認・説明にも引き続き多くの方が参加してくださいました。



先日も三陸沖にて震度5強の地震が観測されました。近い将来身近に起こりうる大規模災害や局地災害に向けて、基幹災害拠点病院としての責務を果たせるように日頃の業務に励んでいきたいです。



社会課 緒方綾子